

# 総括質問

今定例会では、16人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。

詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。



## 9月 定例会概要

8/27～9/20・会期25日間

- 8月27日 本会議 (第1日)
  - 市長提出議案の上程、提案説明
- 9月5日～10日 本会議 (第2～5日)
  - 総括質問
  - 決算特別委員会の設置
- 9月12日～13日 常任委員会
  - 12日 総務経済常任委員会
  - 都市建設常任委員会
  - 13日 環境厚生常任委員会
  - 教育民生常任委員会
- 9月20日 本会議 (第6日)
  - 市長提出議案の討論、表決
  - 市長提出議案(追加議案)の上程、提案説明、表決

## 清風クラブ

### 中学校給食実施に向けて

数田 俊樹 議員



**問** 中学校昼食検討委員会の検討結果を踏まえ、中学校の完全給食実施に向けて本格的な内部検討を始めるのか。市長の見解を伺う。

**市長** 社会構造と生活様式が変化している現在、学校における昼食の重要性は増しており、完全給食を実施すべきと判断した。今後、報告書の提言を基本に、庁内関係部局で実現に向けた検討を進めていく。

**問** 実施に当たり、どのような方式を考えているか。

**市長** 提言にある共同調理場方式による完全給食を実施したいと考えている。

**問** どの程度の予算規模を見込んでいるか。

**学校教育部長** 今の段階で数字を示すのは難しい。

**問** 数年前までは20%から30%であった県内の完全給食の実施率は、ここ数年で70%程度と、実施の方向で

動き始めている。各自自治体の予算規模などのデータを参考にしながら進めてもらいたい。実施に当たっては現在の東部と北部の共同調理場と中学校給食を合わせた共同の施設を検討するという認識でよい。

**学校教育部長** 東部と北部の共同調理場の建築年次はそれぞれ昭和40年代、50年代であり、築50年に至ろうとしている建物である。これらの建物の更新と中学校給食を合わせたの検討となれば非常に大きな話になるが、真剣に考えなければならぬテーマである。

**問** 東部と北部の共同調理場で約9千食を担い、中学校給食では約7千食を見込んでいる。共同の施設を造る場合、敷地面積はどのくらい必要になるか。

**学校教育部長** 仮定での話になるが他市の事例から約

9千平方メートルの敷地が必要になると考えられる。

**問** 清風クラブでも中学校給食の実現に向けて近隣自治体の視察を重ねてきた。実現に向けて動き出すことは大変うれしく思う。1年でも早くできるように進めてほしいが、見解を伺う。

**市長** 共同調理場による完全給食を実施するためにどのように課題を捉え、どのように進めていくのか、そ

のスケジュールも含めて教育委員会に指示し、しっかりと進めていきたい。

**相模小学校の移転**

**問** 相模小学校の移転スケジュールを伺う。

**市長** 現在、建設費を算出するための積算業務や法令に基づく手続きを行っている。また、土地区画整理組合と建設予定地の地権者との間の協議が進み、用地取得の契約に向けた準備を行っている。今年度中の用地取得に向けた取り組みを進め、取得後は工事発注に向けた手続きを進めたい。

**問** 用地取得が済んでいないところについて、取り組んでいることはあるか。

**都市整備部長** 約2ヘクタールの学校用地を保留地として組合から市に売却することになっている。家屋移転は進んでいるが、現在の家に住んだまま新しい仮換地先に家を建て、その後元の家を壊し、更地にするため、少し時間が掛かる。いずれにしても今年度中には解決すると考えている。



### 見附台から中心街活性化 新たなビジョン策定決定

片倉 章博 議員

**問** 「街の顔」が失われつつある。本市の中心市街地は、江戸時代に東海道平塚宿として栄え、明治時代以降は平塚駅を中心に商業環境が発展し、七夕まつりに代表される文化と伝統を持った地域である。しかし、近年の都市間競争や車の社会の進展に伴う郊外の開発、産業活動の停滞、高齢

化の進行などにより、中心市街地の空洞化が進んでいる。その中で、長年の課題であった見附台周辺地区の再整備が動き出した。これまでの取り組みを伺う。

**都市整備部長** 本市の財政に多大な影響を与えることなどから、事業手法などの見直しを行い、平成29年2月に見附台周辺地区土地利

用計画の改訂整備方針を策定した。これを踏まえて、(仮称)新文化センター整備と見附台周辺地区を含む中心市街地のにぎわい創出のため、30年7月に事業者の募集を開始した。

**問** 崇善公民館と市民活動センターの複合施設整備の進捗状況を伺う。

**都市整備部長** 来年4月の供用開始を目指し8月から本格的な工事が始まった。年内には外観が完成し、年明けからは内装と外構の工

事に着手する予定である。

**問** 現在市民センターと崇善公民館があるA2ブロックと、錦町駐車場があるCブロックに求める民間収益施設の考え方を伺う。

**都市整備部長** 民間収益施設は中心市街地への波及効果も考え、近隣住民の日常的な利用と合わせ、集客やにぎわい創出に寄与する業務・商業機能やカフェ、レストランなどの飲食機能などの提案を期待している。

**問** その施設は1、2階に

カフェなどの店舗が並ぶ商業施設があり、上階に宿泊施設などができるのではないかと考えるが、見解を伺う。

**都市整備部長** 民間事業者の考えることであるが、一つの考えであると思う。

**問** 見附台周辺地区整備事業を起爆剤と捉え、中心市街地との連携を進めることが最重要課題であると考えているが、見解を伺う。

**都市整備部長** 中心市街地の活性化のためには、中心商店街だけではなく集客の核となる見附台周辺地区や駅西口が連携し、回遊性を高めてにぎわいを創出することが重要である。事業者の募集に当たっては、見附台周辺地区と中心商店街との連携施策や見附台周辺地区、中心商店街、駅西口との連続性の確保などの提案を誘導することにより、中心市街地全体のにぎわいの創出と回遊性の実現による活性化を目指していく。

進め、取得後は工事発注に向けた手続きを進めたい。

**問** 用地取得が済んでいないところについて、取り組んでいることはあるか。

**都市整備部長** 約2ヘクタールの学校用地を保留地として組合から市に売却することになっている。家屋移転は進んでいるが、現在の家に住んだまま新しい仮換地先に家を建て、その後元の家を壊し、更地にするため、少し時間が掛かる。いずれにしても今年度中には解決すると考えている。

センターと市民活動センターの複合施設整備の進捗状況を伺う。

**都市整備部長** 来年4月の供用開始を目指し8月から本格的な工事が始まった。年内には外観が完成し、年明けからは内装と外構の工

中心市街地 ビジョン策定

新たな中心市街地のビ

市議会 ホームページ

市議会に関する情報はこちらから。



議 長 ダ イ ア リ ー

平塚市議会議員 山原 栄一

議長の出席した主な会議などをお知らせします。(8月～10月)

- 8月1日 全国施行時特例市議会議長会総会
- 8月2日 都市行政問題研究会総会
- 8月6日 石田小稲葉線並びに東浅間大島線整備促進協議会委員会
- 8月22日 3市3町広域行政推進協議会総会
- 8月28日 鈴川改修整備促進及び石田小稲葉線整備促進に関する要望活動
- 10月18日 神奈川県市議会議長会定例会・正副議長研修会
- 10月25日～26日 全国競輪主催地議会議長会臨時総会